

し、渦度が大きくなるにつれて、中心における圧力もますます低くなっていく。

謝 辞

この原稿について有益なコメントを下された東京大学海洋研究所新野 宏教授、編集委員、査読者、図の作成・提供をして下さった同所の平田理沙さんと大学院生の田上浩孝さんに感謝します。

参 考 文 献

- Amenu, G. G. and P. Kumar, 2005: NVAP and Reanalysis—2 Global Precipitable Water Product. Intercomparison and variability studies, Bull. Amer. Meteor. Soc., **86**, 245-256.
- Bader, M. J., G. S. Forbes, J. R. Grant, R. B. E. Lilley and A. J. Waters, 1995: Images in Weather Forecasting, A practical guide for interpreting satellite and radar imagery, Cambridge Univ. Press, 499pp.
- Chang, E. K. M., S. Lee and K. L. Swanson, 2002:

- Storm track dynamics, J. Climate, **15**, 2163-2183.
- Chen, S.-J., Y.-H. Kuo, P.-Z. Zhang and Q.-F. Bai, 1991: Synoptic climatology of cyclogenesis over East Asia, 1958-1987, Mon. Wea. Rev., **119**, 1407-1418.
- 小倉義光, 1984: 一般気象学, 東京大学出版会, 314pp.
- 小倉義光, 1994: お天気の科学—気象災害から身を守るために, 森北出版株式会社, 226pp.
- 小倉義光, 2000: 「Images in Weather Forecasting」の紹介, 天気, **47**, 227-228.
- 高原宏明, 松本淳, 2004: 東アジアにおける気団と前線帯の季節変化, 月刊海洋, **36**, 252-256.
- Tracton, M. S., 1973: The role of cumulus convection in the development of extratropical cyclones, Mon. Wea. Rev., **101**, 573-593.
- Zishka, K. M. and P. J. Smith, 1980: The climatology of cyclone activity and anticyclones over North America and surrounding ocean environments for January and July 1950-77, Mon. Wea. Rev., **108**, 387-401.



測候時報第72巻第1号及び気象庁研究時報第57巻第1号の内容案内

測候時報第72巻第1号(平成17年9月1日発行及び気象庁研究時報第57巻第1号(平成17年9月9日発行)が発行されましたので内容(表題:著者:ページ:要旨)についてお知らせいたします。

なお、測候時報・気象庁研究時報は気象業務支援センター(Tel:03-5281-0440, Fax:03-5281-0443, URL:http://www.jmbc.or.jp)から購入できます。

<測候時報第72巻第1号>

- ◇第67回気候問題懇談会報告:地球環境・海洋部:
P1-14
(要旨省略)
- ◇第68回気候問題懇談会報告:地球環境・海洋部:
P15-21
(要旨省略)

<気象庁研究時報第57巻第1号>

- ◇関東平野西部に発生した線状降水システムの解析
—2003年8月8日の事例—:牧野眞一:P1-13
(要旨省略)
- ◇2003年8月5日に北海道東部で発生した大雨の事例
解析:米川博志:P15-25
2003年8月5日昼前から宵のうちにかけ、北海道東部で活発な雨雲が発生、局地的な大雨となった。メソ顕著現象を実況監視するうえで有効な特徴を見出すため事例解析を行った。その結果、高層資料や数値予報モデルから自由対流高度や中立浮力高度などの指数を求め、アメダス10分値、地上発散、雲頂温度などの実況と比較することは、実況監視するための資料として有効であることがわかった。

(気象庁総務部企画課)